


## 遍照院三重塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	へんじょういんさんじゅうのとう
所在地	倉敷市西阿知
指定年月日	大正14年4月24日
解説	塔は総高21.33m、方三間、本瓦葺である。昭和42年の解体修理において応永25年(1418)の再建墨書銘が発見され、室町時代前期に再建されたことが判明した。軒の出が深く、木鼻や双戸[ふたつど]などの組物、板彫式墓股[かえるまた]の意匠など、室町時代前期の建築様式の特徴をよく現している。各部の均整がとれ、その壮麗・端正な姿は美しく、塔としての品位と尊厳を示す優れた作である。
アクセス方法	JR西阿知駅より車で約5分、徒歩約15分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場は9:30～16:00間は利用可能 
備考	